

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

## 【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	潜水活動中、水没車両内で水中拘束に陥りかけた事例
3. 体験した事例の中心的要素	水没車両内にバディーロープを使用して検索に入った際、車両内の浮遊物（漁業用網、ロープ等）に潜水資器材が絡まり、水中拘束に陥りかけた。
4. 体験した事例の原因・理由	水没車両内に漁業用網、ロープ等が多数浮遊していたが、視界不良で車内状況が確認できなかった。

## 【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

## 【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20 年 7 月 19 日 午後 5 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：水底の水没車両（1BOX）内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：水中拘束
7. 事例体験時の活動	救助、現場活動初期 [ ]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	人命検索・救出
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[33]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[12]年、階級[消防司令補]、同様の活動[1年に数度]、任務[車長]
○当事者B	年齢[26]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[6]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[機関員]
○当事者C	年齢[28]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士]、同様の活動[初めて]、任務[機関員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A・B・C	水没車両内の検索のため潜降した。	
経過2	当事者A	潜降後、水没車両内に検索のため入った。	
経過3	当事者B・C	車外で待機した。	
経過4	当事者A	車内の浮遊物（漁業用網、ロープ等）に拘束されそうになった。	
経過5	当事者A	装備していたナイフでロープを切断し、浮遊物を避けながら車内検索を実施した。	
経過6	当事者A	車両最奥天井付近で要救助者を発見し、障害物を除去しながら車外へ搬送した。	
経過7	当事者A・B・C	要救助者とともに浮上した。	
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険事象の対応方法を知っていた。集中力、注意力があった。資機材の機能が適切だった。資機材の操作がうまくいった。個人装備が適切だった。たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：水中で視界不良の中、浮遊物が漂っていた。また、狭いスペースで一人で入るのが精一杯だった。
---

【事故発生後の取り組みについて】

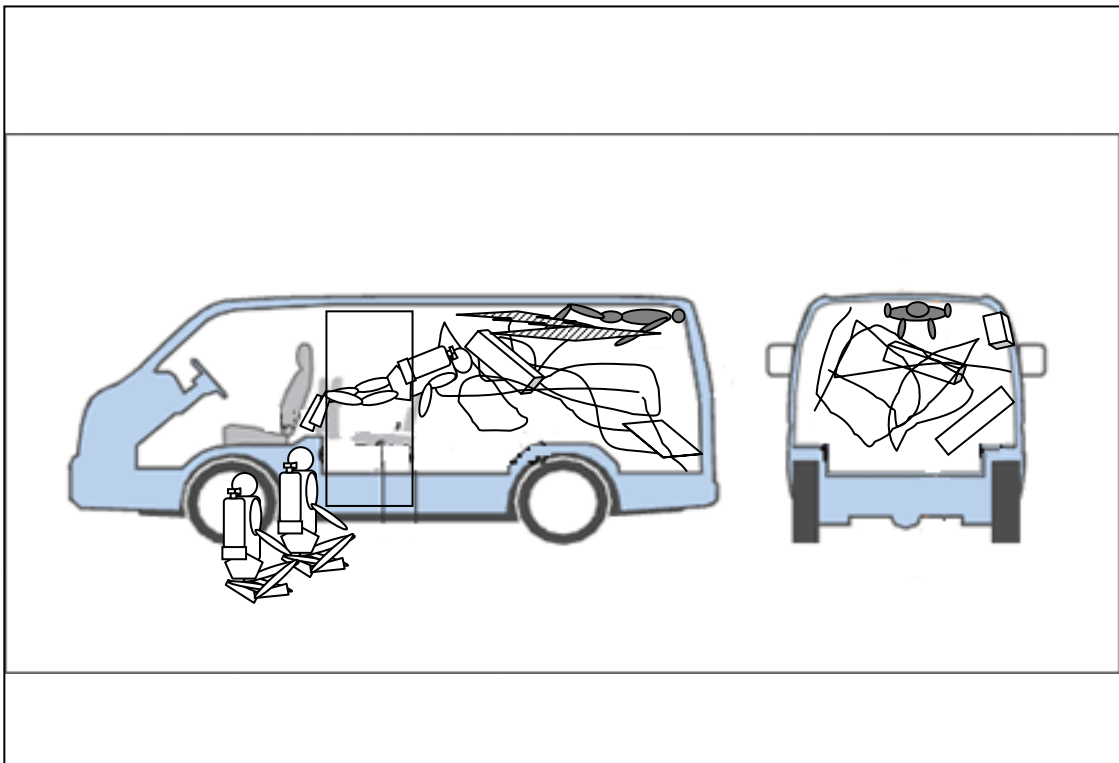
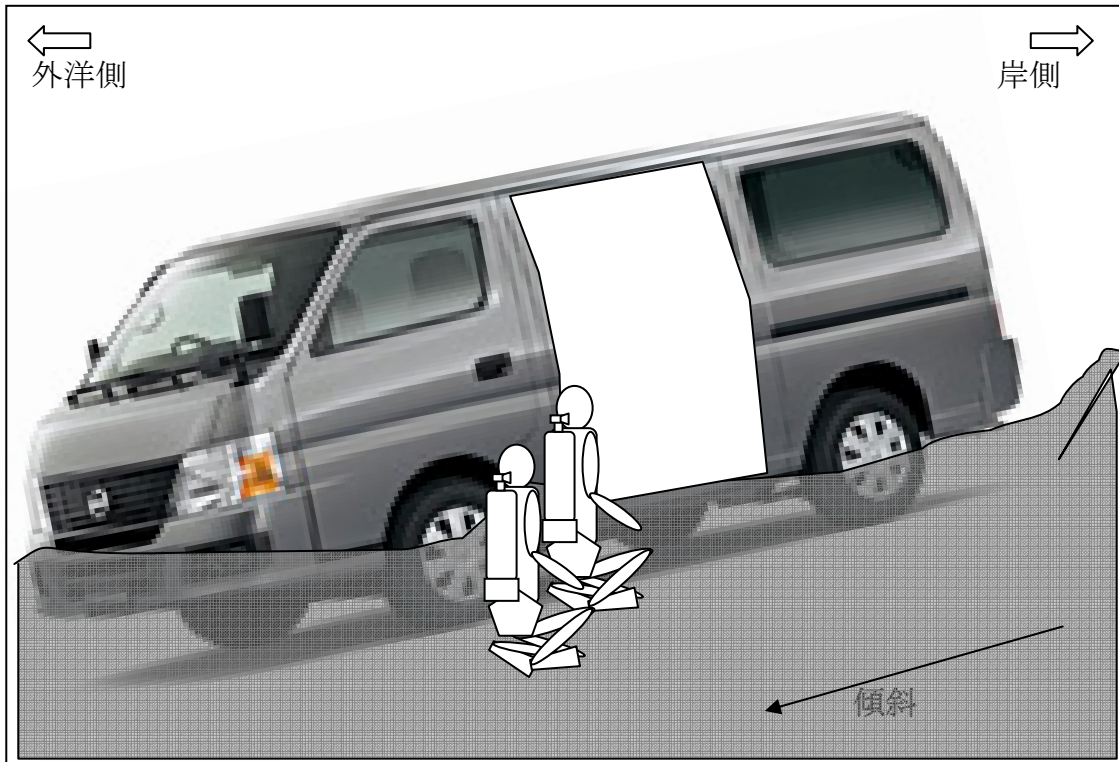


○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について



・発生日時：平成20年7月19日 午後17時頃

経過	現場の状況	隊員A(車長)	隊員B(機関員)	隊員C(機関員)	備考
		車長／消防司令補 ・年齢 33 歳 ・勤続 15 年 ・現場 12 年 ・同様の活動：1年に数度	機関員／消防士 ・年齢 26 歳 ・勤続 6 年 ・現場 6 年 ・同様の活動：初めて	機関員／消防士 ・年齢 28 歳 ・勤続 4 年 ・現場 4 年 ・同様の活動：初めて	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     出動指令                 </div>				<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;">                     水難救助                 </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     視界不良                 </div>	水没車両内の検索のため潜降した。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     水底の水没車両(1BOX)                 </div>	潜降後、水没車両内に検索のため入った。			<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;">                     バディーロープを使用。                 </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     水没車両内に漁業用網、ロープ等が多数浮遊                 </div>	車外で待機した。			
		車内状況が確認できなかった。			
		車内の浮遊物(漁業用網、ロープ等)に潜水資機材が絡まり、拘束されそうになった。			
		装備していたナイフでロープを切断し、浮遊物を避けながら車内検索を実施した。			
		車両最奥天井付近で要救助者を発見し、障害物を除去しながら車外へ搬送した。			
		要救助者とともに浮上した。			

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因：情報入力に問題があった。
- ・危険事象の対応方法を知っていた。
- ・集中力、注意力があった。
- ・資機材の機能が適切だった。
- ・資機材の操作がうまくいった。
- ・個人装備が適切だった。
- ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

(活動環境について)

- ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。
- ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。
- ・狭い場所であった。

(指揮・管理について)

- ・隊員の連携が不十分だった。

(その他)

- ・水中で視界不良の中、浮遊物が漂っていた。
- ・また、狭いスペースで一人で入るのが精一杯だった。